

## 54 スネイプ『馬体解剖学』(英文)

一六八三年について

松尾信一

本年(二〇〇二年・平成十四年)は午歳であり、手もと  
の馬の解剖書の中の表題の書物について調査した。

本書は' SNAPE, ANDREW: The Anatomy of an  
Horse. London, 1683. (本題のみで副題は省略)

本書は大判で大きさは、三六・〇×二一・七センチ(変  
型B4判)である。全一冊本で、全五巻から構成されてい  
る。日本解剖学会編『解剖学図書目録』昭和二十五年(一  
九五〇)の欧文書の動物比較解剖学の項には、本書は記  
載されていない。

本書の巻頭に著書スネイプの肖像画、扉(表題・発行  
地・発行年)、チャールズ二世への献呈文三頁、緒言四頁、  
馬の放牧図、緒言(別)二頁、本文二三七頁、付録五頁、  
銅版解剖図版四十九頁と末尾に目次五頁がある。

その目次を記すと、

第一巻 腹部の内臓と総皮(外皮)、全二十九章からな  
る。

第二巻 胸部の内臓、全十章からなる。

第三巻 頭部、全十五章からなる。

第四巻 筋肉、全二十二章からなる。

第五巻 骨格 全十九章からなる。

附録 動物の発生、乳ビ、血液

第一部 静物の発生

第二部 乳ビと血液循環

最後に本書の訂正として、一二三頁三十七行 inner →  
outer, 同頁四〇行 outward → inner とある。

第一巻腹部、第二巻胸部、第三巻頭部などの項は局所  
解剖学的であり、第四巻筋肉と第五巻骨格は系統解剖学  
的編成になっている。その他、附録に、生物の発生や乳  
ビ(胸管)と血液循環などがある。

第一巻は十二図版、第一図版は牧場の馬の図で第二図  
版以降は(以下馬を省略)、腹部の表層、腹部の内臓、胃、  
食道と胃腸、肝臓の血管と実質、脾臓の実質と血管およ

び臍臓、雄の尿生殖器と尿管、雌の尿生殖器と尿管、子宮内の胎子、胎子と尿膜と胎子の胎餅 (Hippomanews)、胎膜内の胎子と胎子の絨毛膜・羊膜・尿膜。

第二巻は七図版ある。胸部と横隔膜と腹部。

胸膜・心臓・肺と横隔膜、心臓と肺、心臓の心耳・心室・弁、肺と気管、気管・気管支と肺胞、肺動脈と肺静脈。

第三巻は十二図版ある。舌・舌骨・喉頭部と気管、頭蓋と脳、頭蓋内の脳と脊髄と下垂体、脳室・脈絡叢と松果体、鼻腔の骨格と大脳・乳頭体、眼球と脳底部、大脳底部、全身の神経系、脊髄と脊髄神経、眼球の膜・体液と筋肉、聴覚器、耳下腺・舌下腺と導管。

第四巻は三図版あり、筋肉である。左前方からの馬体の筋肉、左側面の馬体の筋肉、左後方からの馬体の筋肉 (三図とも風景画入)。

第五巻は十図版あり、骨格である。幼体の頭骨の左側面と腹面図、頭骨の背面図と腹面図、頭骨の右側面図と上顎の左側面図、上顎の左側面図と下顎骨の左側面図、頸椎七個の側面図・背面図・腹面図、胸郭の腹面図

と側面図および肩甲骨の外面図と内面図、前肢骨の外面図と内面図と前肢骨の個別の骨の外面図と内面図、腰椎と仙骨の右側面図と腰椎の前面図と左側面図と仙骨と尾椎の腹面図と仙骨の前面図と腹面図、寛骨の背面図と腹面図、全身骨格の右側面図 (風景画入)。

附録、第一部は二図版ある。小麦の発芽図、鶏胚の発生十二図。第二部は三図版ある。雌兎の生殖器十四図、雄馬の全身の動静脈系と内臓・尿生殖器との関係図、雌馬の胸管と全身の動静脈系図。

スネイプの馬の解剖図は、イタリアのルイニ (一五九八) の盗用であるといわれている。

しかし、ルイニ書はイタリア語であるので、英文のスネイプ書の方が、演者には利用しやすい。

スネイプは馬の解剖図は、自分特有のものと記しているが、演者も両書の図を比較してみたところ、鏡図が多く見受けられた。したがって、内臓で体内での位置や形態が相似でないものは、スネイプ書の図は逆転しているので注意を要する。

(横浜市)